

SHO-BOND

橋梁伸縮装置

**施工後30年を超える耐久性を実証
荷重支持型の鋼製伸縮装置**

SHO-BOND

(エステー)

ST ジョイント

ST-JOINT



■補修工学[®]—— 構造物の総合メンテナンス企業

ショーボンド建設株式会社

重交通路線において、施工後30年超供用され続け、 高い耐久性が実証されました。



昭和58年(1983)施工



平成25年(2013)時点、30年超経過。

国道1号に架かる橋梁【24時間交通量:約41,000台】(平成22年度道路交通センサスより)



平成25年(2013)時点
平成4年(1992)施工後、21年経過。
環状7号(東京)に架かる橋梁
【24時間交通量:約60,000台】

疲労載荷試験結果

STジョイントは設計荷重200kN(100kN+衝撃荷重)にて200万回の静的疲労試験をクリアしています。国道1号線の日交通量約41,000台、大型車交通量約4,500台の通行量の場合、鋼道路橋の疲労設計指針(H14日本道路協会)より試算すると、約40年の設計供用期間となります。

$$Y = nti / (ADTTsLi \times \gamma \times 365)$$

Y : 設計で考慮する期間(年)

nti : 疲労設計荷重の載荷回数

ADTTsLi : 一方向一車線あたりの日大型車交通量

γ : 頻度補正係数(0.03)



■特長

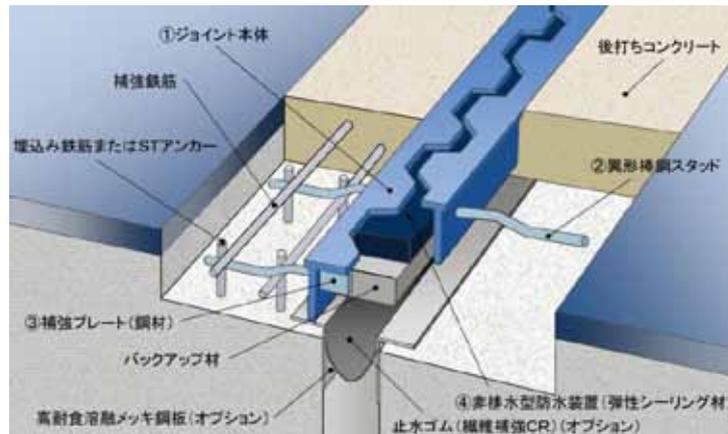
- シンプルな構造で床版と一体化し、優れた耐久性を実現。
- 伸縮量が20mmから120mmまで、8段階の品揃えで小径間から大径間の橋長に対応。
- 優れた防水性能と騒音吸収性のある弾性シーリング材を使用。
- 工場組立による安定した品質。

■適用範囲

形式	フィンガー遊間 D(mm)		適用床版最大遊間 d(mm)	伸縮量 (mm)	重量 (kg/1.8m)	床版との定着方法
	最大 Dmax	最小 Dmin				
ST-20N	25	5	55	20	54.2 (普通型)	異形棒鋼スタッド
ST-30N	40	10	95	30	62.8 (普通型)	
ST-40N	50	10	115	40	65.4 (普通型)	
ST-50N	60	10	135	50	72.4 (普通型)	
ST-60N	75	15	175	60	123.5 (普通型)	リブプレート
ST-80N	95	15	225	80	156.5 (普通型)	
ST-100	105	5	235	100	194.4 (重量型)	
ST-120	125	5	275	120	199.8 (重量型)	

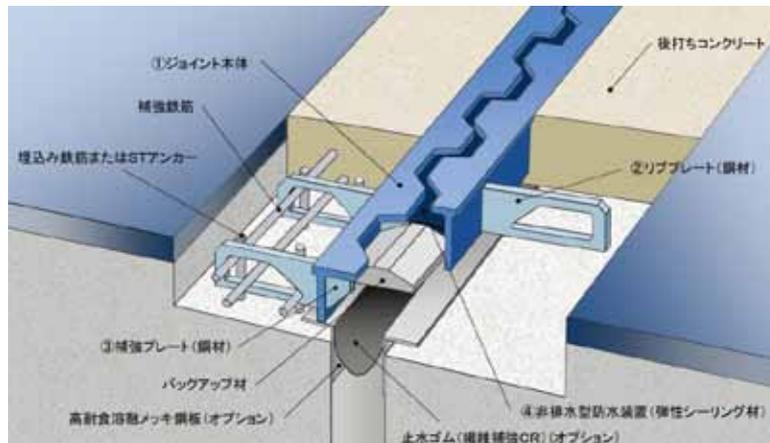
STジョイント 20N/30N/40N/50N

■ 床版との定着方法：異形棒鋼スタッド



STジョイント 60N/80N/100/120

■ 床版との定着方法：リブプレート



●クローザー(二重止水材)

二重止水材を取付けることができます。(オプション)
 伸縮装置本体の止水材が損傷した場合でも、クローザー(繊維補強ゴムシート)が二重の止水材となり漏水を防止します。



クローザー本体



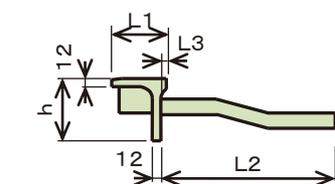
設置状況

■標準断面詳細図・寸法表

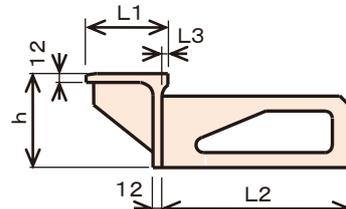
標準断面寸法

形式	L1	L2	L3	h	床版との定着方法
ST-20N	48	235	8	90	異形棒鋼スタッド
ST-30N	68	235	8	90	
ST-40N	78	250	8	90	
ST-50N	88	250	8	90	
ST-60N	108	250	8	125	リブプレート
ST-80N	156	250	28	125	
ST-100	150	270	18	146	
ST-120	170	270	18	146	

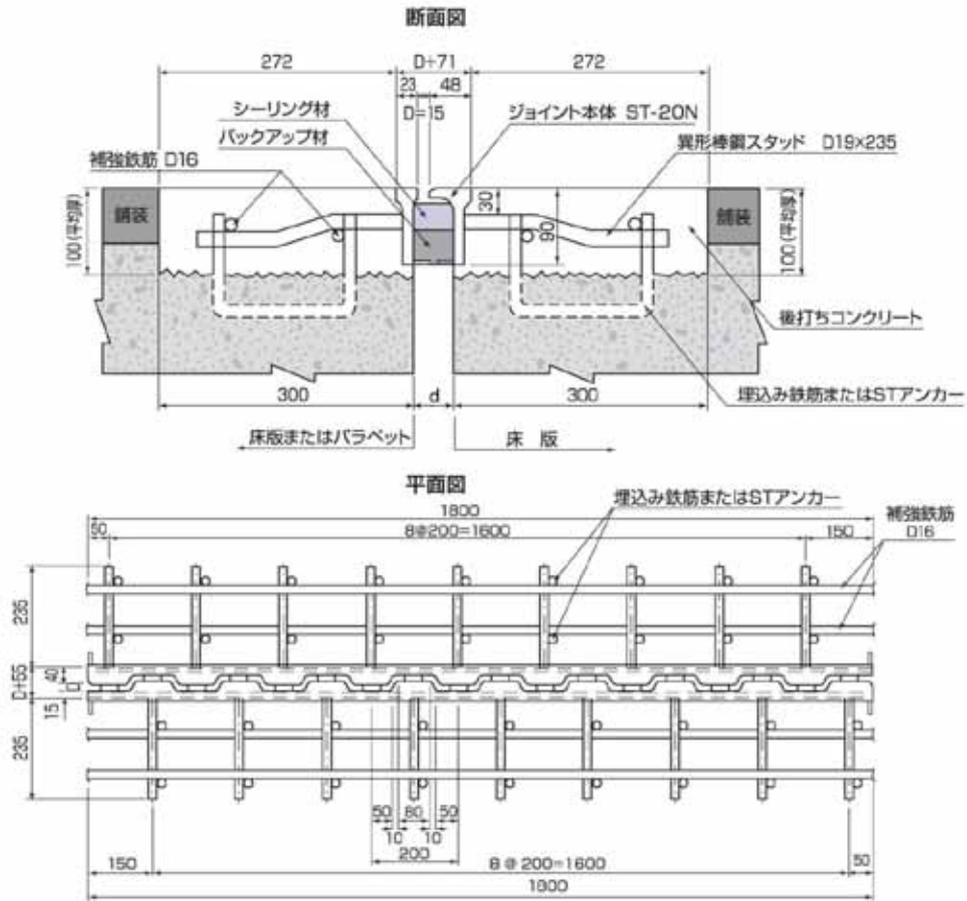
ST-20N~50N



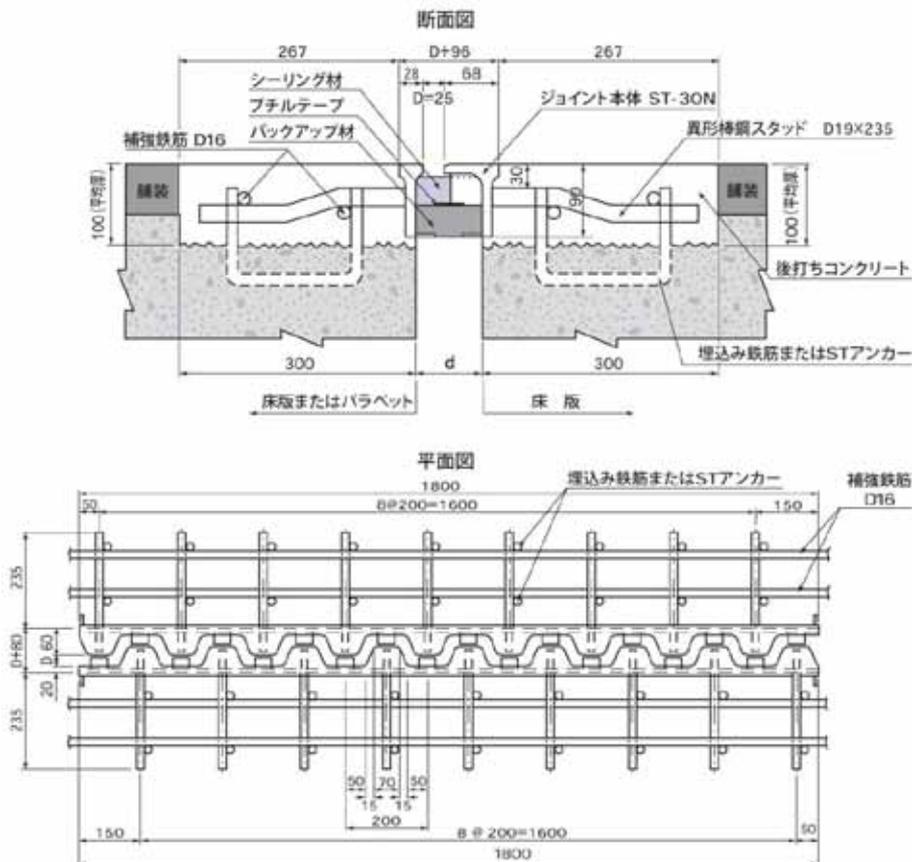
ST-60N~120



ST-20N ジョイント

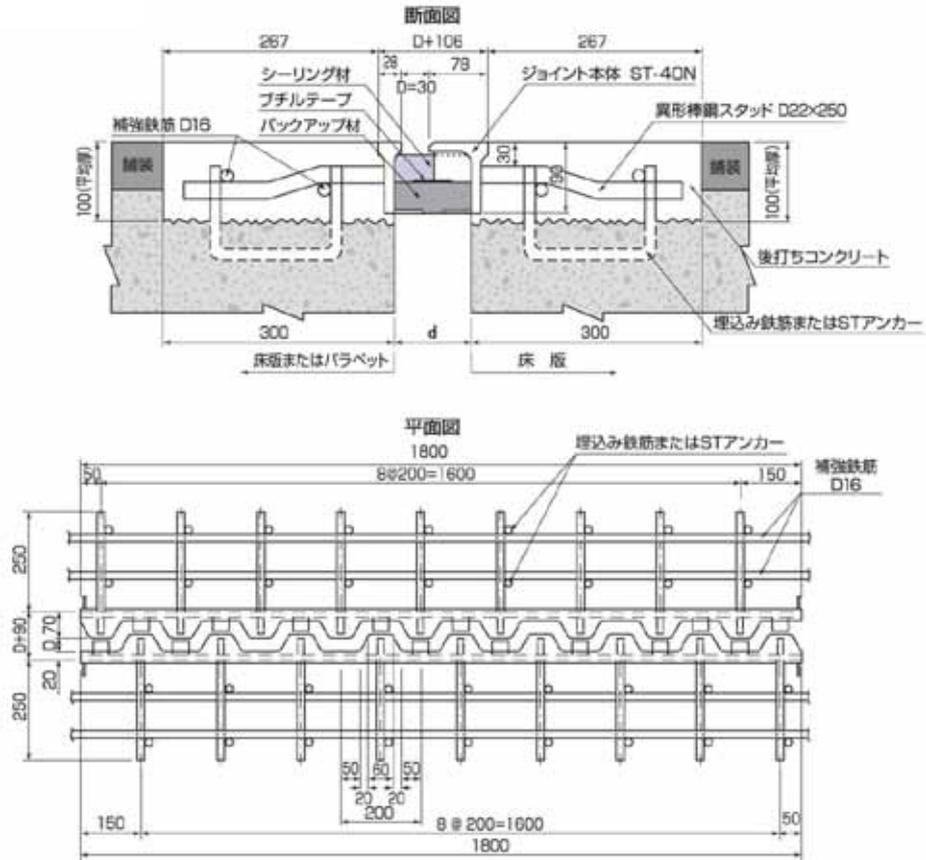


ST-30N ジョイント

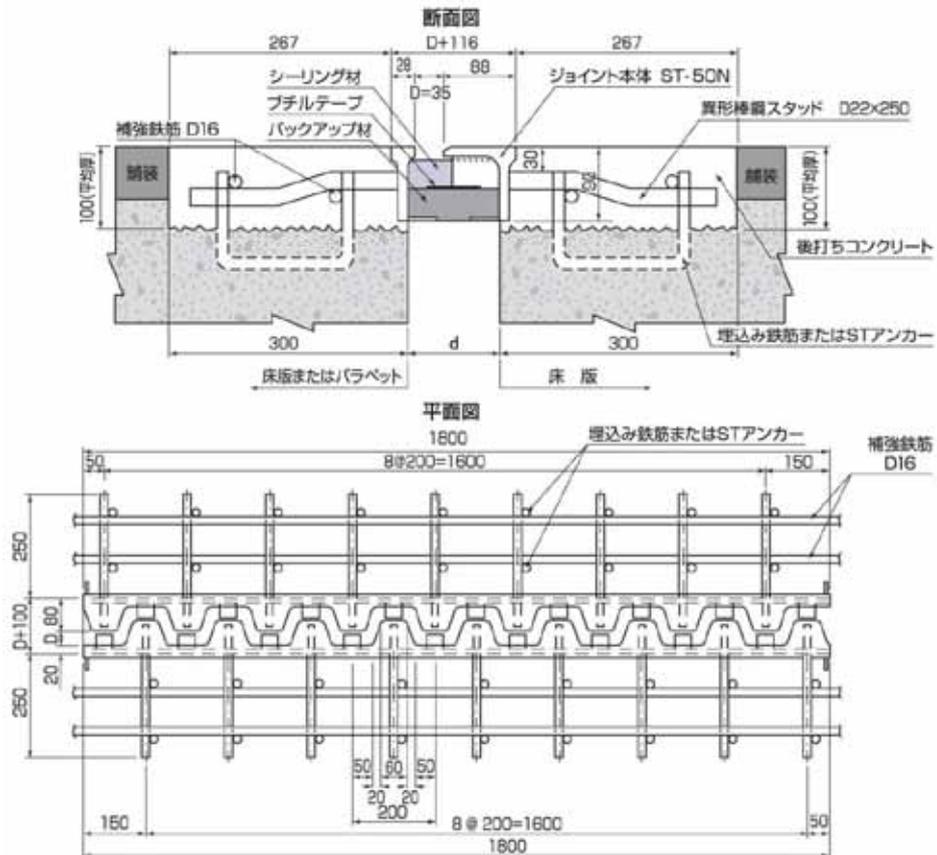


*D寸法は標準温度時の値で表示しています。

ST-40N ジョイント

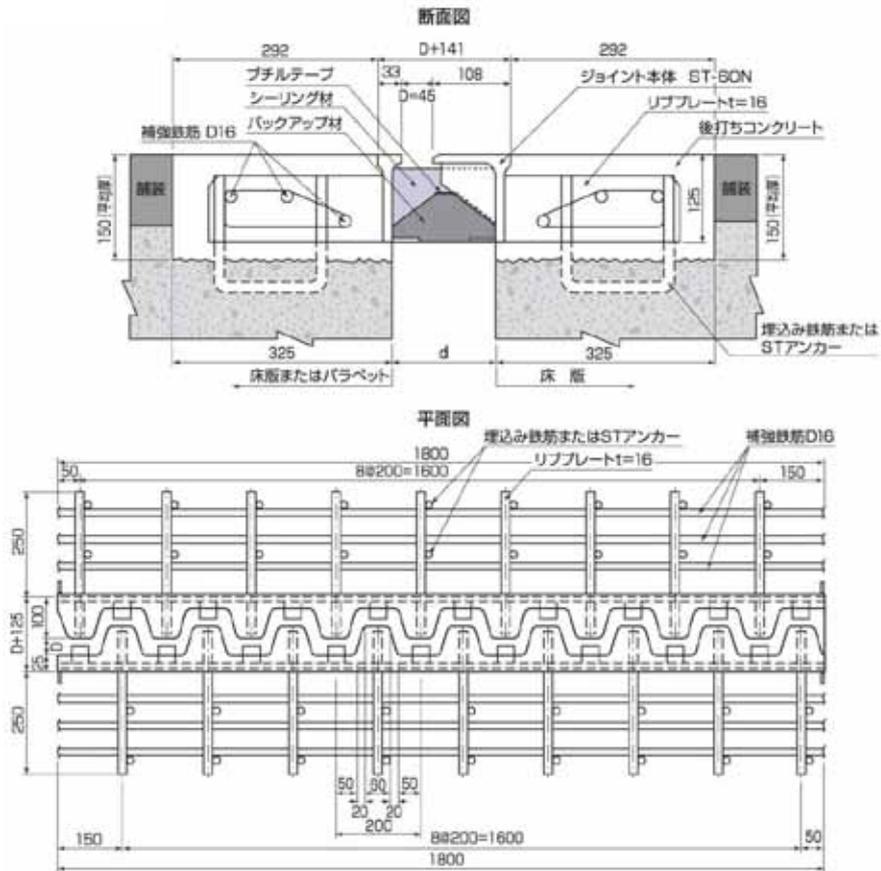


ST-50N ジョイント

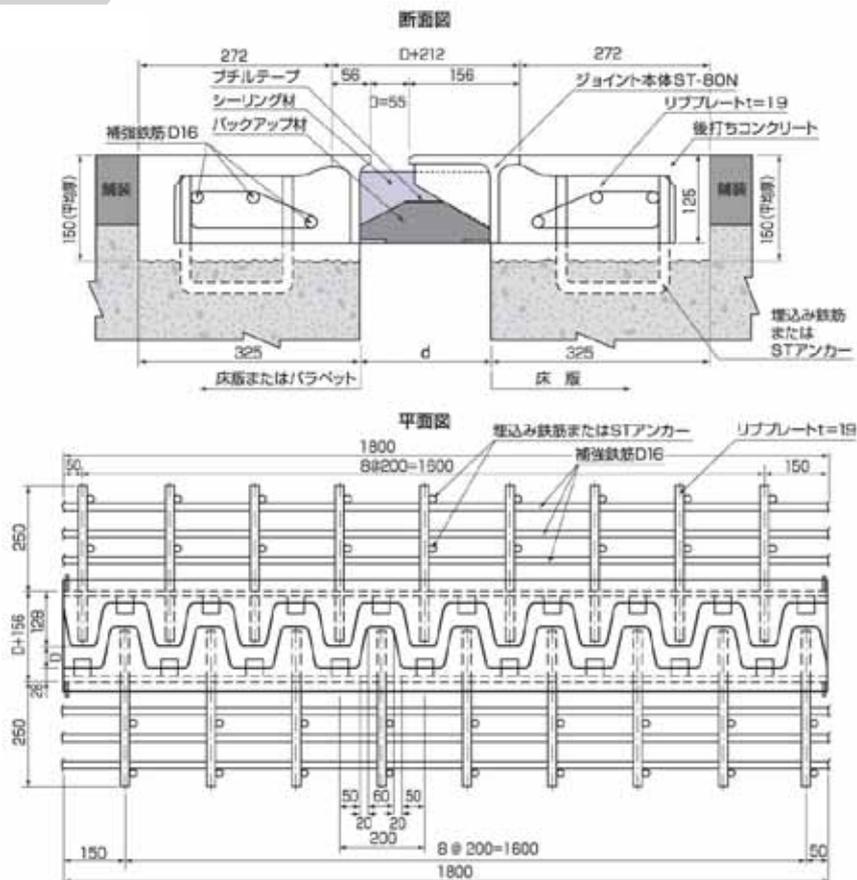


*D寸法は標準温度時の値で表示しています。

ST-60N ジョイント

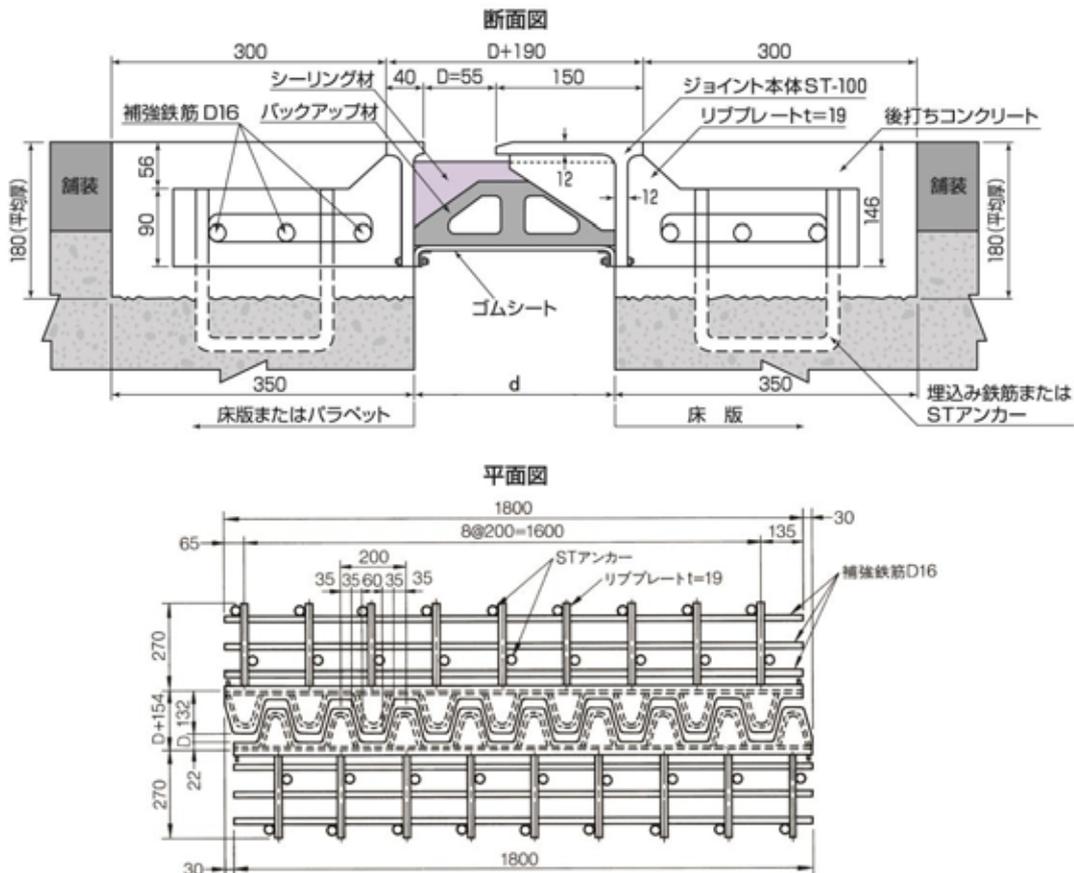


ST-80N ジョイント

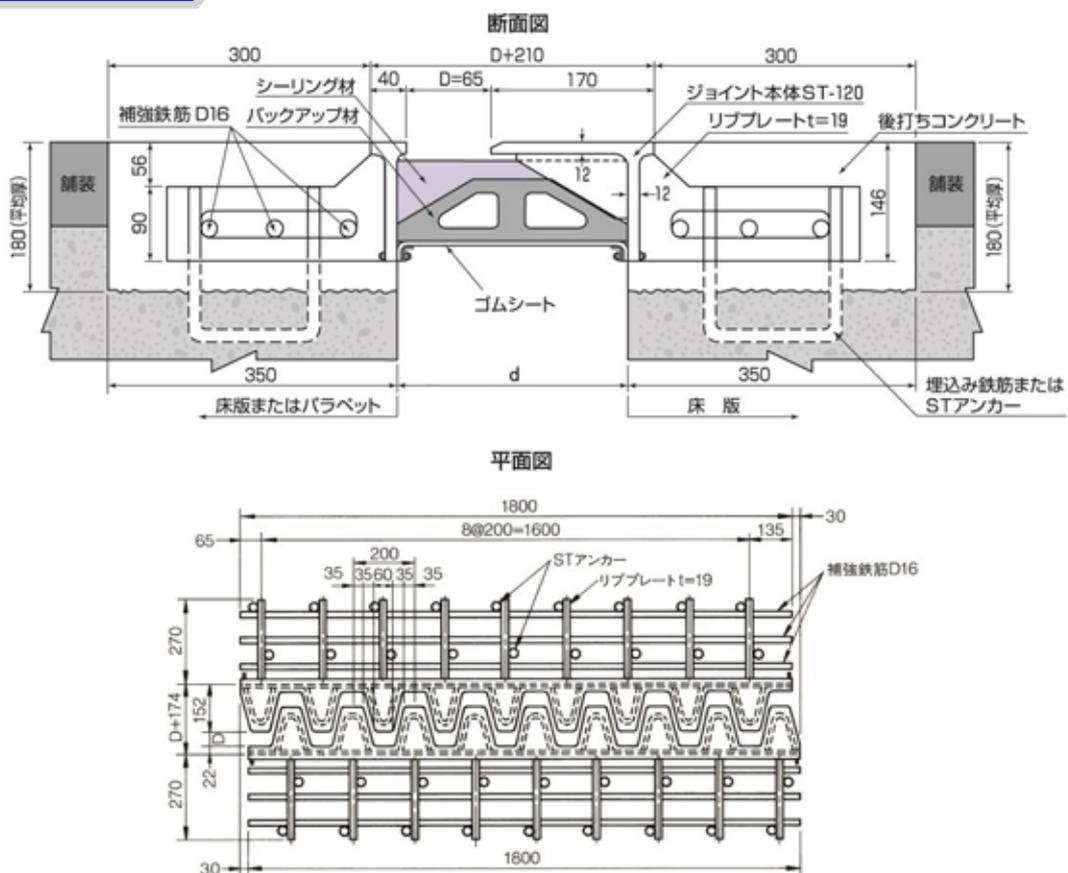


*D寸法は標準温度時の値で表示しています。

ST-100 ジョイント



ST-120 ジョイント



*D寸法は標準温度時の値で表示しています。

SHO-BOND

ST(エスティー)ジョイント

橋梁伸縮装置

ショーボンド建設株式会社

■ 本社 / 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町7-8 TEL. 03(6861)8101 (代表)

■ 補修工学研究所 〒305-0003 茨城県つくば市桜1-17 TEL. 029(857)8101 (代表)

北海道支店	TEL. 011(822)8045 (代表)	／札幌
北東北支店	TEL. 019(641)7335 (代表)	／盛岡・青森
南東北支店	TEL. 022(288)1311 (代表)	／仙台
関東支店	TEL. 048(651)2126 (代表)	
東京支店	TEL. 03(3649)2122 (代表)	／東京
千葉支店	TEL. 043(301)7250 (代表)	
横浜支店	TEL. 045(782)9811 (代表)	／横浜
北陸支店	TEL. 025(272)0432 (代表)	
静岡支店	TEL. 054(237)1933 (代表)	
名古屋支店	TEL. 052(682)2461 (代表)	／名古屋・三重
京都支店	TEL. 075(612)3000 (代表)	
大阪支店	TEL. 06(6965)4308 (代表)	／大阪・和歌山
神戸支店	TEL. 078(413)2550 (代表)	
中国支店	TEL. 082(925)0033 (代表)	／広島・鳥取・岡山・山口
四国支店	TEL. 087(866)0233 (代表)	／高松・松山・高知
九州支店	TEL. 092(451)4385 (代表)	／福岡・鹿児島・沖縄
東京建築支店	TEL. 03(3649)2612 (代表)	
大阪建築支店	TEL. 06(6965)4350 (代表)	

■ 製造元

ショーボンドマテリアル株式会社

〒350-0833 埼玉県川越市芳野台2-8-10 TEL.049(225)5611(代表)

<http://www.sb-material.co.jp>

■ 販売元

ショーボンド建設株式会社

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町7-8 TEL.03(6861)8101(代表)

<http://www.sho-bond.co.jp>

★品質改良のため、製品規格の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

● 取扱い営業所